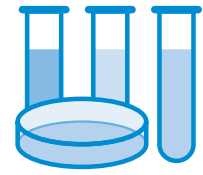


# 細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

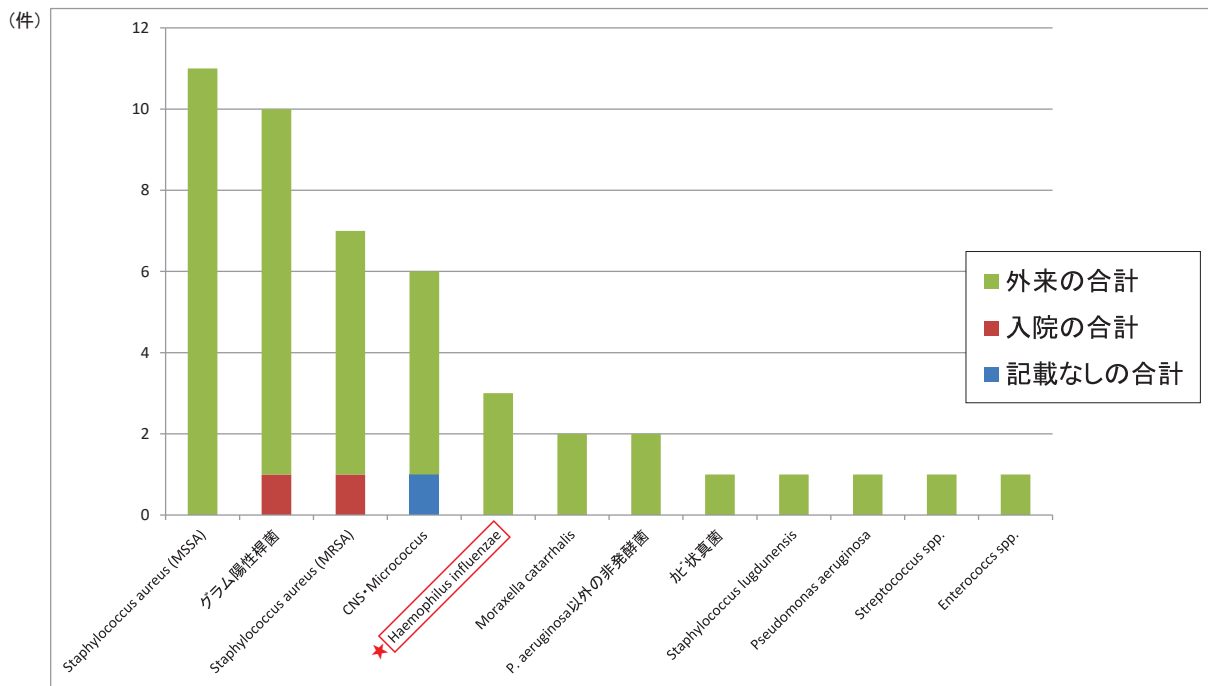


当検査センターで受託した細菌検査における統計資料を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、眼脂の細菌検出状況を掲載いたします。

## 【細菌検出状況】

【眼脂】細菌検出状況 2022年11月



細菌性結膜炎は、主に黄色ブドウ球菌やインフルエンザ菌などの細菌によって引き起こされるもので、子供から高齢者まで幅広い年齢層で発症する眼の病気です。症状としては目やに・充血・眼の痛みや違和感といったものが挙げられます。

細菌性結膜炎の原因菌のなかでもインフルエンザ菌は乳幼児における原因菌として多く、当検査センターでも2022年11月に眼脂から検出されたインフルエンザ菌は、3件のうち2件が幼児からとなっています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係